

河内地域まちづくり実施計画

元気・住みよいいふれ愛の里

こうち

河内

ビジョン 2025



## はじめに

2007（平成19）年3月、河内地域まちづくり実施計画（まちづくりビジョン）を策定して以来すでに9年が経過しました。この9年間、「元気・住みよいふれ愛の里 河内」をスローガンに地域の課題解決や活性化をはじめ見守りとふれあいのなかでの安心・安全活動を町民一丸となって取り組んできました。

この結果、実施計画体系にある基本施策の具体的推進計画の達成目標は一定程度達してきましたが、継続して取り組まなければならない計画も依然としてあります。

9年という月日の流れのなかで、河内もまた様々に変化してきています。特に大きく変化したのが少子高齢化社会の進行による人口の減少とこれに伴う世帯の減少であります。

人口の減少は農業生産を始めとした経済活動の低下はもとより集落の維持（共同活動）に大きな影響を及ぼします。

本年度、河内まちづくり実施計画の見直しにあたり、現行のまちづくり実施計画の基本施策を踏襲しながら、町民のニーズと時代の変化に即応した実施計画としました。

具体的には、基本施策を従来どおり5項目として、具体的推進計画のなかでこれまでの推進計画を検証し、まちづくり懇談会や各部・各団体のヒアリングをもとに新たな推進計画を取り入れることとしました。

このことを通して、「元気・住みよいふれ愛の里 河内」として、安心、安全な住みよい明るいまちづくりを行い、次の世代へ引き継ぐ今後10年、20年先において共に喜び合える地域づくりを行っていきます。

2016（平成28）年3月

河内まちづくり連合会



### 1 ビジョンについて…P.4

- ①まちづくりビジョン策定の趣旨
- ②ビジョンのめざすところ
- ③ビジョンの期間

### 2 地域の特徴と課題…P.5

- ①現状と特色
- ②アピールポイント
- ③課題

### 3 基本施策…P.8

- ①みとめあい・支えあおう
- ②住みよい環境を作ろう
- ③にぎわい・活力を生み出そう
- ④元気な農業をやろう
- ⑤ふるさとを再発見しよう

### 4 河内地域まちづくり実施計画体系（構想・組織）図…P.13

### 5 河内まちづくり連合会組織図…P.14

### 6 おわりに…P.15

# 1 ビジョンについて

## ①まちづくりビジョン策定の趣旨

2007（平成19）年3月に策定した「河内地域まちづくり実施計画」を基に地域の活性化に向けた各種の取り組みを検証し、現在新たな課題解決に向けた取り組みを加えるまちづくり実施計画としての見直しを行い、ここに河内の今後のまちづくりの道しるべとしてのビジョンを策定します。

## ②ビジョンのめざすところ

河内の豊かな自然と人情味あふれる人々の生活のなかで、ふるさとを愛し一人ひとりが輝いて生きていく、河内ならではの自治活動を進めていきます。

河内まちづくり実施計画の基本施策を踏襲し「元気・住みよいふれ愛の里 河内」をスローガンに、多くの団体・町民が生きがいと誇りをもって参加し、楽しくいきいき感のあふれあふ活動に取り組んでいきます。

## ③ビジョンの期間

2016（平成28）年度から概ね10年間とします。5年間を経過した時点で社会情勢を見ながら見直しをすることが出来るものとしします。



# 2 地域の特色と課題

## ①現状と特色

河内の地形としては、中国山地を源流とする西城川・神之瀬川の流域に開かれた地域で、豊かな自然に囲まれその自然に育まれた人情は豊かで細やかです。耕地部は川沿いのいわゆる郷と称する部分と谷を利用した部分とに位置し、全体的に典型的な中山間地域で棚田が多いところです。このなかで、一部地域では農業の効率を図る視点から基盤整備事業が完了している地域もあります。

生活環境面では、農道から市道への格上げによる改良や幹線市道の拡幅等の改良により道路交通事情は10年前よりも改善されてきており、また、住民による除草・空き缶清掃により市道・堤防等の美化活動に努めています。

近年、低農薬農法により自然環境の保全により虫も多く飛び交うようになり、各地で虫見やこれと併せた夏祭りも盛んに行われています。

史跡・旧跡・天然記念物もあり、歴史の掘り起こしと保全・伝承に努めています。

毎年正月元旦には「世界おらび大会」と称して亀山城址公園で初日の出を見る会と併せてイベントを行っています。

さらに、神楽の伝承及び後継者の育成、盆踊り・楽打ち（祭礼）の伝承。亀山城址の保全と開発、虫の里の整備、「祝長門守亮綱（はふりながとのかみすけつな）」の墓の周辺環境整備、史跡・旧跡・天然記念物保全と活用を積極的に行っています。

福祉関係では、一人暮らしの老人に対し、「ふれ愛弁当」の配布を永年にわたり実施中です。また、当地域には県内でも比較的大きい高齢者福祉施設が地域との交流を積極的に行っています。



## ②アピールポイント

- 1) 水と緑の豊かな山紫水明の地として四季折々の景色をうかがうことができます。  
特に京の峡から眺める秋の夕日は極上と言われています。また、亀山城は正月の初日の出見学スポットとして知られています。
- 2) 三次市街地の近隣に位置し、尾道・松江線口和 IC への乗り入れによる交通の利便性、さらに市道の拡幅や上水道の敷設供用開始など、社会的インフラの整備が進んでいます。
- 3) 京の峡のしだれ桜、福善坊の釣鐘、西河内の亀山城、東河内の大仙神社と大銀杏、小文の祝長門守亮綱一族の墓所、旧河内小中学校の校舎跡地、山家の一里塚、ひいらぎの木など豊富な名所旧跡があります。
- 4) 芸能文化活動で、穴笠神楽団の公演活動は地域の宝として住民から愛され大きな支援のなかで地域に根付いています。年30回ぐらいの市内外の公演は広く市民・県民から高く評価されており、河内の伝統芸能として定着しています。



探してみよう!

### 河内地域の魅力

まだまだ知られていない河内地域の魅力を探し出して記入してみましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

## ③課題

- 1) 少子高齢化が進み、保育所・小学校の児童の減少に歯止めがかからない。
- 2) 他町からの転住者が少ない。
- 3) 人口流出等の要因により、地域の若者、地域の担い手不足という問題が増えてきている。
- 4) 小規模兼業農家が多く農地の荒廃が増えている。
- 5) これからの農業を見通した営農方法への取り組みが遅れている。  
(集落法人・営農組合の活動で営農は進むが、米価の下落・兼業環境で営農は厳しい状況。)
- 6) 農地の維持・集落の維持活動で草刈りが大変になってきている。
- 7) はぶ草茶・みそ等の特産品を生産販売しているが、まだ特産品が少ないため農家の収入が少ない。他品目の拡大が必要である。
- 8) 以前より電柵・ワイヤーメッシュの牧柵を設置し、鳥獣被害の防護は一定の効果を示しているが、まだまだ被害は続いている。
- 9) 若年層と年長者の交流、コミュニケーションが不足している。
- 10) 高齢という加齢の中で免許証を返上しようにも、交通手段がない状況がある。
- 11) 人口減・世帯減とともに空き家の増加が目立ってきた。
- 12) ボランティア活動としての自治運営が難しくなっている。



ここで考えてみよう

### 課題対策と新たな課題

あなたが、「こうすれば…」というお考えがあればここに記入してみてください。  
また、上記以外の課題があるとすればご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

# 3 基本施策

## ①みとめあい・支えあおう

### ■連帯と生きがい発見の場づくり

これまで取り組んできた5つの地域での活動を基本とし、地域の特色を活かしながら自主的な活動を行います。さまざまな活動の中で高齢者と児童を含めた若年層の交流を大切にし、地域の絆を強めます。また、ボランティアへの参加を促し、ふれあい活動を進めます。

- ・5つの地域で行われている特色ある地域活動を推進
- ・世代間交流の推進
- ・地域ボランティア活動（ふれあいサロンなど）の推進



### ■子どもをみんなで守り育てる地域づくり

下校時の見守りや日常の声かけ、放課後等の安全・安心な活動拠点（居場所）をつくることにより、地域の宝である子どもたちを地域全体で守り育てる取り組みを進めます。また、河内保育所、河内小学校との連携を図り、特色ある学びや保育の支援を行い、地域の保育所、学校を守ります。

- ・河内放課後児童クラブ、放課後子ども教室の運営
- ・下校時の安全支援（子ども見守り隊など）
- ・特色ある学び・保育の支援（河内保育所・河内小学校との連携）

### ■みんなで助け合う～ふれあいと絆づくり～

年をとっても安心して暮らせるよう、高齢者を犯罪や災害、交通事故から守るため、声かけや見守り、交通手段の確保等に取り組み、みんなで助け合うまちづくりを進めます。また、青壮年のコミュニケーションの場づくりを支援し、地域の活性化を図ります。

- ・高齢者の見守り活動の推進  
（巡回タクシー等交通手段の確保、見守り・SOSネットワーク支援事業など）
- ・青壮年の地域内の活動の場づくり

## ②住みよい環境を作ろう

### ■定住・交流の場づくり

人口減少を少しでも食い止め、若者や子どもたちを増やし、地域の活性化を図るため、空き家などを活用した定住環境づくりに取り組みます。また、地域外や都市部との交流を進めることにより、多くの人が往来する地域をめざします。

- ・U・I・Jターン者の受入体制の整備
- ・地域外や都市部との交流の推進
- ・増加する空き家対策

### ■安全・安心なまちづくり

地域全体の安全・安心のため、防犯パトロールや青色パトロールに継続して取り組みます。また、日常から近所での声かけなどを通して、犯罪（特殊詐欺等）に強いまちづくりを進めます。

- ・地域の交通安全対策・点検（防犯パトロール、青色パトロールなど）
- ・特殊詐欺の予防活動

### ■災害に強いまちづくり

いつ起きるかわからない自然災害に備え、防災訓練や研修会を定期的に行うとともに、緊急連絡体制を確立し災害に強いまちづくりを進めます。

- ・防災訓練・研修会の開催
- ・防災緊急連絡体制の整備
- ・地区防災会育成活動

### ■田園・里山の景観づくり

草刈りや花植えなどにより、地域の景観維持、環境美化活動を進めるとともに、いつまでも虫が飛び交うよう、きれいな水を守ります。地域に住む人々に愛され、また来訪者に感動を与える、美しい田園・里山づくりをめざします。

- ・景観維持・地域環境整備の推進
- ・郷土愛を育む里山づくり





### ③にぎわい・活力を生み出そう

#### ■明日へ向けた語り合いの場づくり

みんなが住み続けたい魅力ある地域づくりのため、5つの地域でのまちづくり懇談会を開催するなど、将来のビジョンや地域課題について語り合う機会を設けます。地域での実施が難しいことについては、市への要望活動により実現を図ります。また、引き続き、女性が元気でまちづくりに参加しやすい環境づくりに取り組みます。

- ・まちづくり懇談会の開催
- ・男女共同参画活動の推進
- ・市への要望活動の実施

#### ■一人ひとりが活躍する場づくり

住民一人ひとりが、これまでに培ってきた技能や特技などをまちづくりに活かせる場を設けます。また、さまざまなスポーツに親しみ、体力・健康づくりはもとより、スポーツを通じたふれあいを深めます。

- ・人材（一人一技能・一芸など）の発掘
- ・スポーツを通じた世代間交流の推進

#### ■地域の活力・憩いの場づくり

地域の恒例行事である「ふれ愛祭り」「町民体育祭」を継続して開催します。

- ・ふれ愛祭りと町民体育祭の開催

### ④元気な農業をやろう

#### ■生きがい農業と適地適産による特産品づくり

地域の特性に応じた特産品づくりに取り組み、小学校や保育所へ地元の食材を提供したり、福祉施設と連携した販売・消費を通して、楽しみながらできる農業をめざします。

- ・楽しみながらできる農業の推進
- ・特産品づくり（みそ・はぶ草茶・じねんじょなど）
- ・地産地消の促進（小学校・保育所への食材提供など）
- ・福祉施設と連携した特産品の販売・消費（たなばた感謝デー、収穫祭など）

#### ■健全な農業経営と次代を担う農業後継者づくり

高齢化により個人で農地の維持・管理が難しくなる中、農事組合法人など地域で農業を守っていく仕組みづくりを支援します。また、農業の担い手となる若者や移住者などの支援を行います。

- ・農業の担い手育成と確保
- ・農地の保全と農村集落の維持



## ⑤ふるさとを再発見しよう

### ■文化財・史跡を大切にす地域づくり

地域の良いところや歴史を掘り起し、次世代につなぐ活動に取り組みます。また地域内に数多くある史跡等を計画的に整備し、大切な資源として守り、住んでいる人が親しみを感じ、地域外に自慢できる資源として活用します。

- 地域の歴史の掘り起し
- 史跡等の整備と活用



### ■地域資源を活かした集落自慢づくり

まだまだ知られていないが、ほかにはない地域の資源を再発見し、広く情報発信をしていきます。

- 地域の一押しスポットの再発見と情報発信

### ■伝統・文化を伝承する地域づくり

地域特有の芸能や文化の継承に努めます。また、古くから続いている地域行事を支援するとともに、広く情報発信をしていきます。

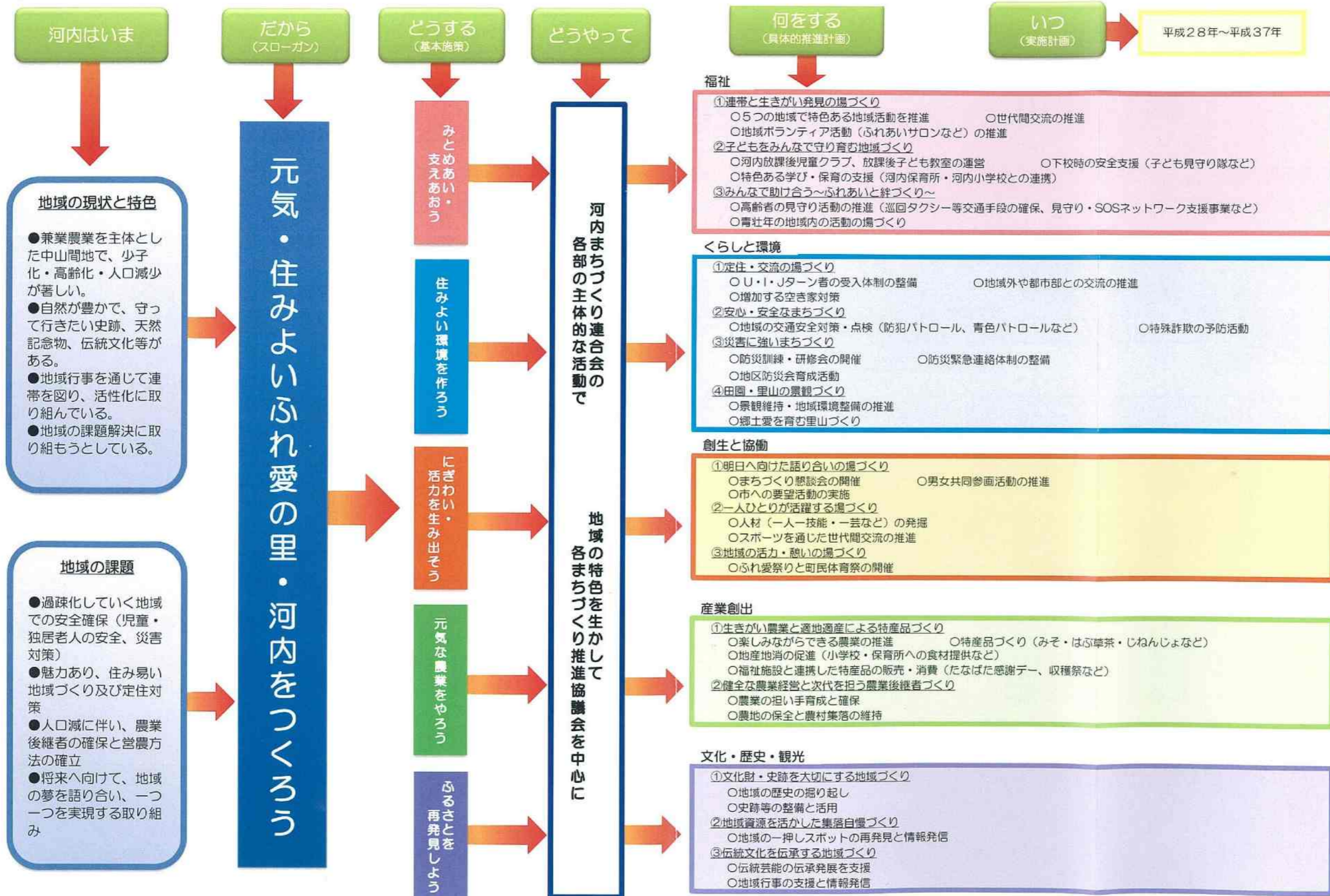
- 伝統芸能の伝承発展を支援
- 地域行事の支援と情報発信



# 4

## 河内地域まちづくり実施計画体系（構想・組織）

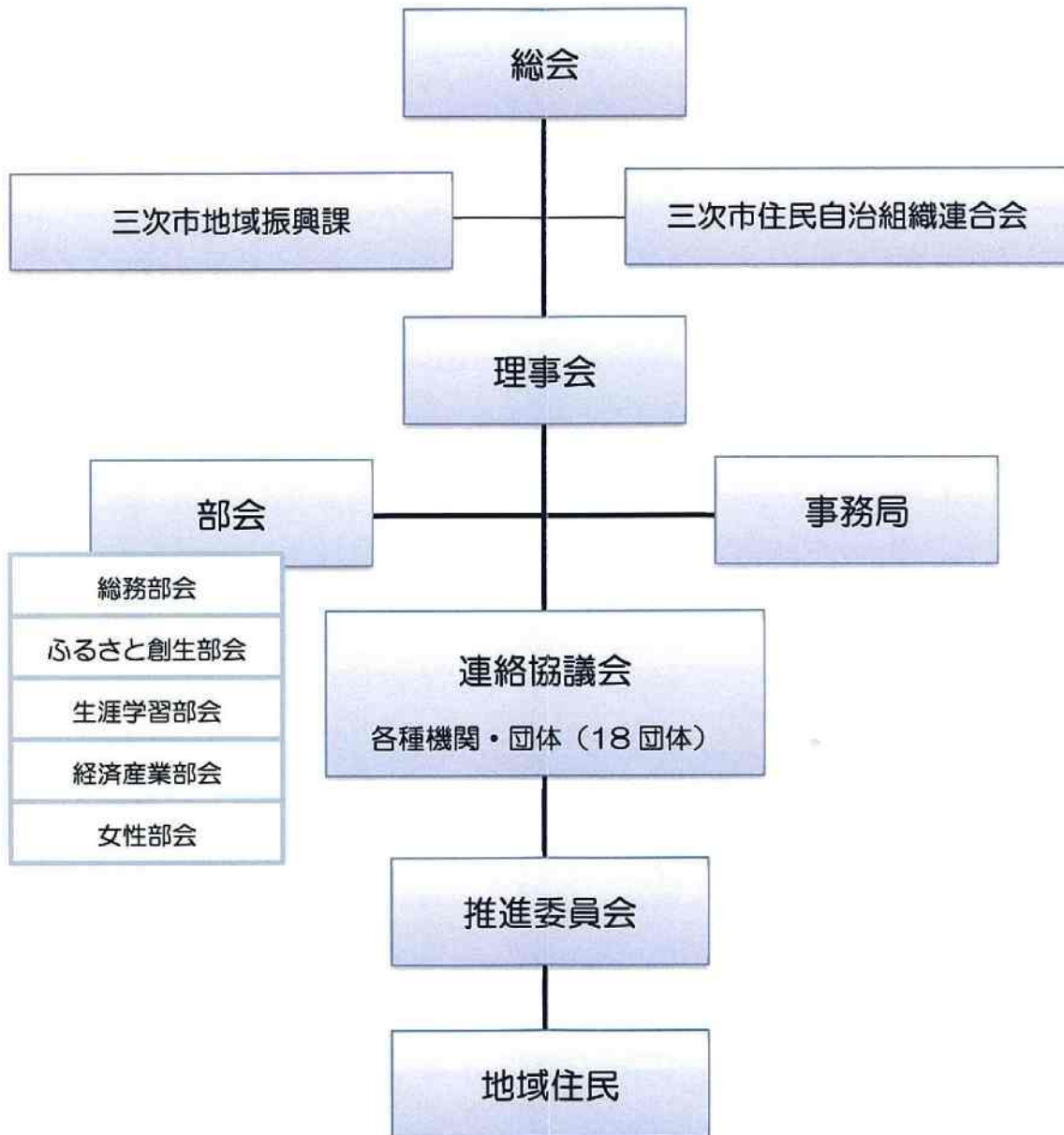
河内まちづくり連合会





# 5

## 河内まちづくり連合会組織図



# 6 おわりに

少子高齢化の波はこの小さな町にも容赦なく襲ってきていますが、どっこい、私たちはしたたかに且つしなやかに固い絆のなかで生きています。

緑と水の大自然に囲まれながら、これまで10年間のまちづくりビジョンの実現をめざし、町民の皆さんと様々な活動に取り組んでまいりました。この中で、目標が達成できたもの、活動継続中のもの、未完成の事業がありますが、新まちづくりビジョンの策定にあたり皆さんとまちづくり懇談会等で検証をしてきたところです。

昨年6月、新まちづくりビジョンの策定にあたり「策定小委員会」を立ち上げ、この1年間、素案策定に向けて協議を重ねてまいりました。

そのコンセプトは、河内まちづくりビジョンの実施計画を見直し、人の輪の中で楽しくいきいきと暮らしていく計画となることをめざしています。

河内の宝を大事に、河内の人情を大事にしながら、「元気・住みよいふれ愛の里 河内」を実現していきます。

2016（平成28）年3月

河内まちづくり連合会

# 三次 河内音頭

唄 河野 千重  
黒川 昇一

作詞 神田 茂幸  
作曲 黒川 昇一  
編曲 丸山 雅仁

## 一、ハアー

緑豊かな 春日の森に  
歴史ひもとく 学び舎の跡  
神楽太鼓が 夜空に響きや

ソレ

みんなおいでよ 河内の里へ  
こころひとつに こころひとつに 町づくり

## 二、ハアー

石が苔むす 亀山古城  
里の鎮守の 八幡様に  
織りはためく 老杉さくら

ソレ

みんなおいでよ 河内の里へ  
こころひとつに こころひとつに 町づくり

## 三、ハアー

町にそびえる 銀杏の古木  
区画水面に 稲穂が揺れる  
河鹿啼く音に 蛩が舞うよ

ソレ

みんなおいでよ 河内の里へ  
こころひとつに こころひとつに 町づくり

## 四、ハアー

今日も映して 西城川に  
山紫水明 文化が薫る  
明日に輝く 幼子の声

ソレ

みんなおいでよ 河内の里へ  
こころひとつに こころひとつに 町づくり

## 五、ハアー

ロマン伝える 出雲の街道  
いまも語るよ 塚松跡は  
神之瀬川の 流れも清く

ソレ

みんなおいでよ 河内の里へ  
こころひとつに こころひとつに 町づくり

振付 花之本 寿春女  
制作 和田 宏

## 三次 河内音頭

作詞 神田 茂幸  
作曲 黒川 昇一  
編曲 丸山 雅仁

The musical score is written on five staves. The first staff begins with a treble clef, a key signature of two flats (B-flat and E-flat), and a common time signature. The melody is accompanied by chords indicated by letters above the notes. The lyrics are written below the notes. The score includes a 'ソレ' (Solo) section at the beginning of each line.

Lyrics:  
み どり や た - の - な  
か す が の り - に れ き し め る - と - - - く  
ま な が や の あ - と か ぐ ら だ い こ が よ め ら に め - ゐ  
み ん な お い で よ こ ころ の さ - と へ エ - エ エ  
こ ころ ひ と つ に こ ころ ひ と つ に ま ち づ く - り



策定小委員会構成員

---

委員長 近藤文人

委員 小山和夫 堂前昭己 河本正治

多門寺賢爾 藤井敏美 山田武行

---

元気・住みよいふれ愛の里 河内

河内地域まちづくり実施計画—ビジョン 2025

---

発行・編集 河内まちづくり連合会

事務局 〒728-0007 三次市小文町 182-1

河内コミュニティセンター内

TEL 0824-63-7644